



校報 たいらだて

3 学期スタート 次へつながるように

保護者の皆様には、よい新年を迎えられたことと存じます。旧年中は本校の教育諸活動へのご理解とご協力、大変ありがとうございました。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

始業式では二つの話をしました。一つ目は、今年の干支について。二つ目は「あいさつ」について話しました。

干支については今年の干支は丙午（ひのえうま）。エネルギーが強く前向きという意味があります。そのことから「積極的に行動することで良い運を引き寄せる」ことができることを話しました。

「あいさつ」については、外国人から見た日本人のイメージが礼儀正しいこと、その反面日本人はその礼儀正しさが薄れてきていると感じていることから考えました。子ども達に礼儀正しさは何かを尋ねると、「あいさつ」という答えでした。そこで、あいさつのもつ意味について考え、もう一つの私たちの自慢にしようと話しました。

3学期は42日間という少ない日数ではありますが、子ども達一人一人がなりたい自分になれるよう、実り多い1年となるよう教育活動を進めてまいります。今後ともご支援とご協力をお願いいたします。



今年の干支は？

午（うま）⇒丙午（ひのえうま）



つよ まえむ
エネルギーが強く前向き



せっきよくてき こうどう うん ひ よ
「積極的に行動することで良い運を引き寄せる」

れいぎ ちゆうしん
礼儀の中心

= あいさつ

まとめ：礼儀としてのあいさつとは？

✓ 相手への尊敬を表す

✓ 相手とのかかわりをもつ儀式

✓ お辞儀や敬語で誠意を表す



日本では“礼儀の基本”



おはようございます!! へんにちは



じまん

もう一つの自慢に！

【始業式提示資料より】

児童会代表の発表より抜粋

3学期は、今の学年で過ごす最後の学期です。最後だからこそ気を抜かず次の学年へアップグレードするためにもこれまで学んだことを使ったり、次に何をするかを考えたりして心も体も用意をしましょう。また、校長先生が2学期言っていたようにあと少ない期間ですが、一人一人が考えた「なりたい自分」に少しでも近づきましょう。

僕たち6年生は今学期で最後になりますが、先輩たちから学んだことや受け継いだことを5年生が中心に引き継いでいき、この平館小学校を少しでも良い学校にしていきたいです。皆さんもそれぞれ考えていることや学んだことがあると思うので、それを使ったり、教えたりしていきましょう。これからも、どんどん寒くなっていくと思うので、寒さに負けずに、冬の八幡平市の魅力を見つけていきましょう。そして、体に気を付けながら次の学年への用意をしていきましょう。

作品展開催

思いのこもった力作ぞろい！

冬休みの作品展が（20日～27日）開催されます。今回もタブレットを活用してまとめた子ども達もいました。いくつかの発表を見ましたが、授業で学んだ方法を活かしてまとめています。体験したことや調査した内容を写真や絵、図や表などを用いながらまとめているものもありました。学習成果発表会では、高学年の子ども達がグラフを作成・活用している場面もありました。校内発表会で見た上級生のまとめ方に学んだ子ども達もいたのではないのでしょうか。今後もあらゆる学習場面で、様々な表現の仕方や、その良さについて学べるようにしていきたいと考えています。

子ども一人一人が、自分の思いをもって取組めるか、さらには試行錯誤しながら考えを形にしていくかが一番大切なことと考えています。自分で答えを見つけ出していくことが子ども達につけてほしい力の一つです。失敗から学ぶことに意義があると考えています。そのためにも、「どうしたから」とか「なぜ」という思いに結びつくように振り返ることを学校でも意識しています。保護者の皆様には、お子さんの思いを形にするべく支え導いてくださったことに感謝しております。作品は工作や研究、調理など多岐に及んでいました。今後も保護者の皆様には、子ども達が悩んだときや困ったときに知恵を貸していただければ幸いです。



【作品展展示から】

R8保護者まなびフェストに向けて

保護者アンケートをもとに学校で子ども達につけたい資質・能力を絞り、その力をつけるために教育活動を編成しています。また、取組むことを具現化したものが、まなびフェストになります。その家庭版が保護者まなびフェストになります。来年度に向けて、育てたい子ども達の姿を目指し、各ご家庭でも実効性の高いものを作ろう！ということから、現在 PTA 執行部を中心に R8年度の保護者まなびフェストの原案作りを行っています。今後理事会で検討し、評議員会にお諮りする方向で進めています。子ども達のさらなる成長を目指し、保護者と学校が一丸となって目指せる取組が出来上がることを楽しみにしております。



ある日の出来事から

◇ 始業式の前、10分前に校長室から出た瞬間。目の前を静かに5年生が移動していました。歩いていることがわからないほどの静けさと、一番行って手本になろうとする気持ちに子ども達の決意を感じました。やはり1番乗りは5年生。実は、昨年の3学期の始業式の1番乗りも5年生。つまり、今の6年生でした。ここにも上級生を見て、憧れをもち、真似していこうとする姿を見ることができました。よき伝統として受け継がれていること、とても頼もしく、嬉しく思います。人は、本物やよいと思うものに触れたときに、自然と自分の行動につながる思いがあふれてくるのだと思います。そのような風土を作りつつある、平舘小学校の子ども達。最高です！
(すっかり当たり前になった行動様式。5分前に始業式が始まりました。)